

分類：臨床医学 VII (CC2)

授業科目名：整形外科学・リハビリテーション科 臨床実習 (Orthopedics・Rehabilitation Medicine)

対象学年：6年次選択

時間割コード：71644006-12

1. 主任教員

宮腰尚久 (教授、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00)

2. 担当教員

宮腰尚久 (教授、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00)

本郷道生 (教授、保健学科 理学療法学専攻、6532)

粕川雄司 (准教授、リハビリテーション科、6148、オフィスアワー：9：00-17：00)

野坂光司 (准教授、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00)

土江博幸 (講師、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00)

永澤博幸 (医学部講師、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00)

齊藤英知 (医学部講師、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00)

木島泰明 (医学部講師、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00)

白幡毅士 (助教、高度救命救急センター、6148、オフィスアワー：9：00-17：00)

工藤大輔 (助教、リハビリテーション科、6148、オフィスアワー：9：00-17：00)

木村竜太 (助教、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00)

尾野祐一 (助教、整形外科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

【授業のねらい】

臨床実習 CC1 で、医師として求められる基本的な資質・能力 (医学モデル・コア・カリキュラム A 項目)、人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療 (同 D 項目) を中心に学習したところであるが、CC2 では発展的項目として、診療チームの一員として患者さんへの診療を通して、医師としてのリサーチマインドおよびプロフェッショナリズムの習得を目指す学習を行う。また、関連する医療倫理、医療行動科学、医療安全、医療法 (制度)、EBM について学ぶ。

【授業の概要】

医学教育モデル・コア・カリキュラムで示された以下の項目を中心に、病棟実習、外来実習、手術実習、講義を通じて学習する。4 ないし 5 週間の実習期間中に、脊椎、膝関節、股関節、上肢外傷、下肢外傷、骨軟部腫瘍、リハビリテーションの各診療グループの一員として日々の診療に従事し学習をする。

A-1-2 患者中心の視点

・インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。(1-2)

A-1-3 医師としての責務と裁量権

・診療参加型臨床実習において患者やその家族と信頼関係を築くことができる。(1-1,1-2,2-1～2-7)

A-2-1 課題探求・解決能力

・課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。(5-1～5-5)

A-2-2 学修の在り方

・講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。(5-1～5.5, 6-1,6-2)

A-3-1 全人的実践的能力

・病歴を適切に聴取するとともに患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を行える。(2-1～2-8, 4-1～4-5)

A-4-1 コミュニケーション

・コミュニケーションを通じて良好な人間関係を気づくことができる。(2-1～2-8,4-7)

A-4-2 患者と医師の関係

- ・患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取り扱いができる。(1-1,1-2,3-5,4-5)

A-5-1 患者中心のチーム医療

- ・医療チームの構成や各構成員の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。(2-5,2-6,3-6,4-7)

A-6-1 安全性の確保

- ・実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。(2-5,2-6,3-5,3-6,4-5,4-7)

A-6-2 医療上の事故等への対処と予防

- ・医療上の事故等と合併症の違いを説明できる。(2-5,2-6,3-5,3-6,4-7)

A-6-3 医療従事者の健康と安全

- ・標準予防策の必要性を説明し、実行できる。(3-4,3-5,4-4,4-6)

A-7-1 地域医療への貢献

- ・地域医療に積極的に参加・貢献する。(3-7,4-8)

A-8-1 医学研究への志向の涵養

- ・生命科学の講義・実習で得た知識を基に、診療で経験した病態の解析ができる。(5-1～5-5,6-1,6-2)

A-9-1 生涯学習への準備

- ・臨床実習で経験したことを省察し、自己の課題を明確にする。(6-1,6-2)

B-1-1 統計の基礎

- ・データの記述と要約ができる。(3-2,5-2,5-3)

B-1-3 根拠に基づいた医療 (EBM)

- ・根拠に基づいた医療 (EBM) の5つのステップを列挙できる。(3-3,4-4)

B-1-8 保健・医療・福祉・介護の制度

- ・障害者福祉の現状と制度を説明できる。(3-7)

B-3-1 医学研究と倫理

- ・医学研究と倫理を説明できる。(1-1)

G-1-1-(1) 医師として求められる基本的な資質・能力 (1-1,1-2,2-1～2-8)

G-1-1-(2) 診療の基本 (2-1～2-8,3-1～3-7)

G-1-1-(3) 学生を信頼し任せられる役割 (4-1～4-8)

G-2-35 腰背部痛 (3-1～3-3,4-1～4-6)

G-2-36 関節痛・関節腫脹 (3-1～3-3,4-1～4-6)

G-2-37 外傷・熱傷 (3-1～3-3,4-1～4-6)

G-3-1 一般手技 (4-6)

G-3-3 外科手技 (4-6)

関連するプロフェッショナリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法(制度)、EBMについて説明できる。(1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2)

【授業の進め方】

1. 病棟実習

日々の病棟回診に帯同し、創処置や身体診察、術後安静度の検討などを主治医とともにを行いディスカッションをする。各自1～2例の症例検討を通じて学習目標を達成する。担当症例について画像検査所見の検討、医療面接および身体診察を行う。文献的考察を加えてレポートを作成し、担当教員の指導を受け、カンファランスで担当症例発表を行う。

2. 外来実習

医療面接および身体診察や画像所見読影の基本、リハビリテーションの実際などを実習する。指導医、療法士の患者への対応を観察し、接遇の仕方を学ぶ。

3. 手術実習

手術に参画し、局所解剖の理解を深めるとともに、指導医のもとで Student Doctor に認められた医行為(簡単な縫合など)を行い、基本的臨床手技の習得に努める。

4. 研究活動実習

診療の合間には研究活動にも参加可能である。生体力学研究や骨代謝、再生医学の実験など現在進行中のものを自分の目で見て興味をもってもらうことが目標である。

5. 地域医療実習

希望により医学部附属病院以外の施設にて、手術実習を中心とした研修を行うことが可能である。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

【整形外科】

標準整形外科学（医学書院）

TEXT 整形外科学（南山堂）

整形外科学・外傷学（文光堂）

整形外科 MOOK シリーズ（金原出版）

新図説臨床整形外科講座（メジカルビュー社）

図説整形外科診断治療講座（メジカルビュー社）

最新整形外科学体系（中山書店）

【リハビリテーション科】

リハビリテーション医学・医療コアテキスト第2版（公益社団法人日本リハビリテーション医学会 監修，医学書院発行，定価 4,400 円（本体 4,000 円+税 10 %）

整形外科 術後理学療法プログラム 第3版（メジカルビュー社）

5. 成績評価の方法

臨床実習に無断欠席した者、レポートを提出しない者は臨床実習を完了したことにはならない。

レポート提出は、Word 形式または PDF 形式の添付ファイルとしてメールにて送信する。

提出先メールアドレス：seikei@doc.med.akita-u.ac.jp

CC-EPOC による成績評価を行う。評価項目は、実習前の学習態度、医師・患者関係、時間管理・服装・態度、職種間の連携に関するスキル、診療態度・学習意欲に関して、診療・スキルへの姿勢、および総合評価である。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

【注意事項】

1. 時間厳守

初日は朝 8 時 00 分：1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合

初日以降の集合場所および集合時刻は、所属した診療グループの指示に従うこと。

2. レポート

担当した症例のうち 1 症例につきレポート（所定のレポート用紙にまとめる）を作成し、実習終了後 2 週までにメールにて提出すること。

3. 臨床現場における服装に考慮すること。

4. 次ページの授業展開（第 1 回～第 5 回）は週間スケジュールです。この週間スケジュールを 4 ないし 5 回繰り返すことになります。

整形外科学・リハビリテーション科 臨床実習

授 業 展 開		授 業 内 容
第 1 回	月曜日 [8:00-17:00] 副題 オリエンテーション、病棟実習、術 前術後カンファランス、総回診、抄 読会 担当 宮腰・本郷・粕川・野坂・永澤・木島	【実習初日は 8:00 まで 1 病棟 8 階カンファランスルームに集合】 【実習初日以外の月曜日は各診療グループ毎に行動します。】 (初日のみ) オリエンテーション 病棟実習/外来実習 【午後】 術前術後カンファランス、総回診 抄読会
第 2 回	火曜日 [8:30-17:00] 副題 各診療グループ毎に 病棟実習/外来実習/手術実習 担当 本郷・野坂・齊藤・土江	各診療グループ毎に行動します。 【午前】 病棟実習/外来実習/手術実習 【午後】 外来実習/手術実習
第 3 回	水曜日 [8:30-17:00] 副題 各診療グループ毎に 病棟実習/外来実習 担当 白幡・土江・工藤・木村	各診療グループ毎に行動します。 【午前】 病棟実習/外来実習 【午後】 外来実習/検査手技実習
第 4 回	木曜日 [8:30-17:00] 副題 各診療グループ毎に 病棟実習/外来実習/手術実習 担当 本郷・粕川・野坂・齊藤・木村	各診療グループ毎に行動します。 【午前】 病棟実習/外来実習/手術実習 【午後】 外来実習/手術実習
第 5 回	金曜日 [8:30-17:00] 副題 各診療グループ毎に 病棟実習/外来実習/手術実習 担当 永澤・木島・白幡・工藤	各診療グループ毎に行動します。 【午前】 病棟実習/外来実習/手術実習 【午後】 外来実習/手術実習